

すぎたに

根獅子小学校だより

【校訓】「やさしく」「かしこく」「たくましく」
2024. 7. 5 文責:校長 中島 祐治
平戸市立根獅子小学校(平戸市根獅子町 181)
TEL0950(22)9233/FAX0950(28)1020
<https://www.city.hirado.nagasaki.jp/kurashi/school/neshiko>

野外宿泊お疲れさまでした！



6月6日(木)・7日(金)の2日間、本校5年生3名が紐差小学校と合同で野外宿泊学習を行いました。今年度から世知原少年自然の家での宿泊ができなくなったことを受け、1日目は佐世保青少年の天地にてオリエンテーリング及び飯ごう炊さん、2日目は世知原



少年自然の家にて沢登り、という日程で行いました。飯ごう炊さんでは、すべてのグループがおこげのないご飯を炊き上げ、おいしいカレーを堪能することができました。2日目の沢登りでもゴールまで元気にたどり着くことができました。来年はいよいよ修学旅行です。宿泊の練習もこれでばっちりですね。



夏の風物詩 田植えのシーズン到来！



6月19日(水)5・6校時に田植えを行いました。今年度も山口さんの田んぼを借りて行いました。山口さん、伊藤さん、PTA 事業部の山田さん、川嶋さん、伊藤さんの5名の協力を得て、上手に田植えをすることができました。最初はぎこちなかったのですが、終盤に差しかかると慣れてきてスピードが上がりました。昨年よりも腕が上がっており、とても早い時間で終了できました。子供たちは終始満足気な表情で植え進むことができました。きっと立派なもち米が収穫できることでしょう。秋の収穫が楽しみです。準備から後片付けまで本当にありがとうございました。



野菜の苗を植えました！



6月12日(水)2・3校時に、川上茂次さんご指導のもと、全員で野菜の苗を植えました。事前に耕していただいた畑に、なす、きゅうり、とうもろこし、すいか、トマトの5種類を植えました。これからお世話をしておいしい



野菜が収穫できるよう頑張っていきます。おうちに持って帰ってくる日を楽しみにしてください。



お芋大好き！芋さしをしました！

6月13日（木）4校時に、久保孝司さんまつ子さん御夫妻御指導のもと、全員で芋苗を植えました。優しく教えていただいたおかげで短時間にたくさん植えることができました。ありがとうございました。支えてくださる皆さんのおかげで、本校の子供たちは様々な体験ができています。現代の子供たちに圧倒的に足りないのは体験です。今後とも本校の教育に御支援ご協力いただきますようお願いいたします。

根獅子小全児童の虫歯を0に！

6月11日（火）の朝の時間に、虫歯予防集会がありました。3匹の子ぶたのうちの1匹が歯を磨かずに虫歯になって泣いてしまうという劇があり、子供たちは楽しく聞き入っていました。劇の途中では、磨き残しがでない歯の磨き方について養護教諭からの指導がありました。毎回、磨く手順をルーティン化しておく、磨き残しがなくなりますね。小学生までの間は、磨いているようで歯の隅々などは磨けていないことが多いと思います。定期的に仕上げ磨きをしてあげると虫歯の保有率もぐっと下がることでしょう。歯は骨のように折れても再び自然修復されることはなく、髪や爪のように切ってもまた伸びたり、皮膚のように自然に傷口がふさがったりということもありません。歯は心臓や胃と同様、臓器の1つであると言えます。大事にしたいですね。



子育ての知恵（ほめ方・叱り方編2）

○わたしメッセージ・わたしを主語にしてお母さんが素直に自分の気持ちを口にすると、子供の方には自分を否定された気持ちは残らない。あなたメッセージの多くは子供の問題行動に向けられ、それを非難するものになりがち。わたしを主語にしたわたしメッセージに変えると、同じことを言っても焦点はお母さんの気持ちに移る。（いい加減片づけなさい→お母さん、散らかっていると落ち着いてご飯が食べられないの。もう少しきれいに片づけてくれるとうれしいな。）

○ほめ方がモチベーションに与える影響・頭の良さ（能力）をほめると、自分の能力の高さに対する期待を裏切りたくないという思いに縛られ、期待を裏切ったらどうしようという不安に駆られ確実に成功しそうな易しい課題を選ぶ。つまり守りの姿勢に入りチャレンジがしにくくなる。頑張り（努力）をほめると、努力する人間だという期待を裏切りたくないという思いに駆られ、つぎももっと努力している姿を見せなくてはとチャレンジしがいのある難しい課題を選ぶ。

○嫌われたくない心理・子供を叱れない、子供の期限を窺う、甘やかす親。これらに透けて見えるのは嫌われたくない心理。ほめて育てるという思想がなぜ多くの親に受け入れられていったか。憎まれ役を買ってあえて厳しいことをいうよりも、ほめる方が楽だ。子供に嫌なことを言って嫌われるよりほめて好かれない。憎まれ役を買ってでも鍛えて社会に送り出すといった使命感より、子供に嫌われたくないという自己中心な思いの方が強い親にとって、ほめて育てるという思想は非常に都合がよい。

今月のユーモア・考察講座

- ・小学生などがよく使う「あと10秒。10・9・8・7・6・5・4・3・2・1・0」というのは11秒である。
- ・「こぶとりじいさん」は、本来「こぶとられじいさん」ではないのか。
- ・最終学歴自動車学校卒業。
- ・「サザエさん」のマスオと波平はそろってバス通勤だが、なぜか帰りは電車であって実に定期もっていない。
- ・さらさらの美しい髪の毛であっても、たった1本スーフに入っただけでなぜか汚いと言われてしまう。

